

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「(仮称)流山市おおたかの森センターの設置及び管理に関する条例(案)」修正案
1	—	その他	<p>おおたかの森センターも良いと思いますが、市として市野谷の森公園整備についての推進等、何か取り組みはされているのでしょうか。 都心から引越してきた身として、森のまちとしての環境整備が遅くなるほうが魅力が薄れると感じています。</p>	<p>多様な生物が生息する「市野谷の森」については、県立公園及び区画整理事業により整備する公園を合わせ、24.1haの区域を保全する事業を進めています。</p>	無	
2	—	その他	<p>おおたかの森に小中併設校が出来、その一部におおたかの森センターが設置されることですね。 その場所はオオタカのいる森の近くですが、森に面したところに多目的広場が出来、一般の人が使えるテニスコートになるとお聞きしました。 センターの利用時間が午前9時から午後9時までとあります。利用時間、夜間には照明をつけてテニスが出来るようにするのでしょうか？ 照明をつけるなどの行為はオオタカを追い出すことになり、他の生態系にも与える影響が大きいと思います。是非止めていただきたいと思います。 流山市は、市野谷の森にオオタカがいて、いつまでもオオタカにいて欲しいと思っているのではないのでしょうか？今も大規模な開発をし、やっと残ったみどりの森をさらに削って小中併設学校を立て、オオタカにストレスを与えていると思います。 流山市のシンボルとしてオオタカが存在していると思うのですが、私はいつまでもオオタカにいてもらいたいと思いますが、それはみなさんも望まれていることと思います。もっとオオタカがいつまでも住み着いてくれるように大事に保護していく様な取り組みをしていただきたいと思います。</p>	<p>小中学校併設校に隣接して、多目的広場を整備します。多目的広場はポケットパークなどの空間を構成して、都市イベントなど多様な活動にも利用できる広場として国の補助金を受け、整備するものです。中学校の部活としてテニスは行いますが、テニスコート専用として整備することはなく、夜間照明もありません。学校の屋外運動場も森に面しているため、運動会の開催は営業時期を外して行うなど、おおたかに与える影響を極力少なくするよう配慮していきます。</p>	無	
3	—	その他	<p>今後、益々社会での女性の活躍が必要とされる中、また私自身がもうすぐ母になる29歳都内で働くOLとして「こんな街なら暮し易い」「ここに住んでよかった」と思う場の一つとして、ヨガを中心とした心と身体を癒してくれる場の提案をさせていただきます。 ■インストラクターを目指したきっかけ 私は現在、リクルートという会社で人事や秘書業務を行っています。一日中デスクワークで、肩こりや眼精疲労に悩まされてきました。また、周りの従業員の中には精神的な病にかかってしまったり、産婦人科系の悩みを抱える女性も少なくありませんでした。私自身、ヨガを習慣化することで身体的な悩みから解放されただけでなく、やる気の増進、ストレス発散にもつながった為、この感動を同じように周囲の方に伝えたいと思い、インストラクターの資格を取得しました。 忙しい現代社会に生きる私達は、ストレスを溜めがちです。そしてそのストレスを発散する場がないままに生活していると、気力の減退、心や身体の不調、時には病気につながります。とはいえ、中々ジムに行く時間もない…。そんな課題を打破し、現代社会人の心身の健康・充実のために、会社の就業時間外の会議室等で、ヨガを行える機会を作ってきました。女性だけでなく、最初は抵抗のあった男性も毎週通ってくれる方もいました。最後の横になるポーズでは寝てしまう方もいた程、リラックスできる時間になったようです。また、ヨガを始めたことで身体に変化が生まれ、更なる心身の充実を目指して他のスポーツを始めた方や、みるみる体格が変わっていく方もいたり、ヨガによって変わっていく方達をみて今後もこのような場を提供していくことが私の夢になっていきました。</p>	<p>おおたかの森センターにおいては多様な市民活動、生涯学習の場として会場を提供するとともに各種事業を展開していきます。</p>	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「(仮称)流山市おおたかの森センターの設置及び管理に関する条例(案)」修正案
3(続き)			<p>■妊娠して 私は今年の5月に出産を控えています。赤ちゃんを授かり色々な変化、気づきがありました。</p> <p>身体の変化 重い悪阻やホルモンバランスの乱れで思い通りにならない事が多く、落ち込むことが増えました。安定期に入り、ようやくスポーツが許され、ヨガのマタニティ向けのレッスンを初めて受けました。そこには、出産を経験した先生と私と同じ悩みを抱える妊婦さんがいました。これまで習慣的にやっていたヨガでしたが、呼吸に合わせてゆっくりと身体をほぐしていく内に、抱えていた不安や暗い気持ちから解放され涙が出てきたのを覚えています。心身共にストレスがかかっていたことを改めて実感し、お腹の子の為にもしっかり呼吸をして新鮮な酸素を送ったり、血行をよくしたり穏やかに生活していこうと気付かされました。また、同じ境遇の妊婦さんや先生と会話をし、益々前向きな気持ちになれました。今でも週1回は通い、ヨガだけでなく情報交換等を行う等私にとっての癒しの場となっています。</p> <p>参加者の殆どは、共働きの女性です。そんな女性にとってどうしても無理をしがちな生活の中で週末のヨガの時間はとても貴重だと身を持って実感しました。また、同時に産後ヨガの参加者も乳幼児と一緒にクラスを受けていますが、子育てに疲弊していたり、出産によって体がボロボロだと先生に相談されています。その姿を見て、妊娠時期に留まらず、産後の育児に奮闘する女性にとっても癒しの場になっているのだと実感しました。</p> <p>思考の変化 元々気持ちの分かる社会人を癒したいとヨガを教えていた私は、一般者向けのヨガだけでなく、“妊婦&産後のマイナートラブルを軽減できる場を提供したい”と強く思うようになり、マタニティヨガ・産後ヨガ・ベビーマッサージの資格を取得しました。都内に住んでいた時期は、そういった体験をできる場は少し移動すればあったものの、私の地元埼玉や千葉にはまだまだ少ない状況です。</p> <p>また、私自身妊娠をきっかけに都内でなく、自然のある街で子育てをしたいと考えるようになり、街作りのコンセプトに強く共感した「おおたかの森」に魅かれて引越を決めました。また、ここでなら私と同じような共働き子育て世代の女性も今後ますます増えていくと感じそういった女性の力になりたいと思っています。</p> <p>■今後取り組んでいきたいこと 会社の同僚も「おおたかの森」に住んでいます。理由は私と同様、“都内までのアクセス”“街のコンセプトへの共感”が大きかったようです。彼女は産婦人科系の悩みを抱え、ヨガを始めて体質が安定してきた1人ですが「おおたかの森」に住んで「これがあんなら・・・」と思うものの一つにヨガ教室があると言っていました。(他には「レンタルビデオ」や「まつ毛エクステ」を挙げていました。)</p> <p>現代社会で様々な悩みや不安を抱える人たちを少しでも楽にしたいと、私はヨガを習い家族を始め身近な人たちに広めて来ました。そして、妊娠をきっかけにその気持ちは益々大きくなりました。 その夢をここ「おおたかの森」で実現でき、街の活性化に貢献できたら幸いです。</p>	、		